

財 務 諸 表 等

令和 2年度
(第7期事業年度)

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日



地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター

目 次

1 財務諸表

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
損失の処理に関する書類(案)	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7

2 財務諸表(附属明細書)

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細	11
(2) たな卸資産の明細	12
(3) 長期貸付金の明細	13
(4) 長期借入金の明細	14
(5) 移行前地方債償還債務の明細	15
(6) 引当金の明細	16
(7) 資本金及び資本剰余金の明細	17
(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	18
(9) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細	18
(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細	19
(11) 役員及び職員の給与の明細	20
(12) 開示すべきセグメント情報	21
(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	22

3 添付資料

令和 2年度 決算報告書
令和 2年度 事業報告書

1 財 務 諸 表

貸借対照表

(令和 3年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I. 固定資産		
1. 有形固定資産		
土地		1,891,720,000
建物	10,744,175,499	
建物減価償却累計額	<u>△ 2,655,024,399</u>	8,089,151,100
構築物	1,656,263,209	
構築物減価償却累計額	<u>△ 373,196,229</u>	1,283,066,980
車両運搬具	19,012,134	
車両運搬具減価償却累計額	<u>△ 17,872,886</u>	1,139,248
工具器具備品	5,511,899,968	
工具器具備品減価償却累計額	<u>△ 4,429,853,322</u>	1,082,046,646
建設仮勘定		278,425
有形固定資産合計		<u>12,347,402,399</u>
2. 無形固定資産		
ソフトウェア		130,707,867
その他無形固定資産		<u>5,457,301</u>
無形固定資産合計		136,165,168
3. 投資その他の資産		
長期貸付金		5,207,868
長期前払費用		528,289,484
破産更生債権等	2,416,642	
貸倒引当金(破産更生債権等)	<u>△ 2,416,642</u>	0
その他投資		<u>3,330,000</u>
投資その他の資産合計		<u>536,827,352</u>
固定資産合計		13,020,394,919
II. 流動資産		
現金及び預金		4,145,314,447
うち、定期預金		2,000,000,000
医業未収金	2,113,957,071	
貸倒引当金	<u>△ 6,587,794</u>	2,107,369,277
未収金		1,418,495,679
たな卸資産		60,191,568
前渡金		68,273
前払費用		<u>2,960,045</u>
流動資産合計		<u>7,734,399,289</u>
資産合計		<u>20,754,794,208</u>

貸借対照表

(令和 3年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I. 固定負債		
資産見返負債		
資産見返運営費負担金	63,043,534	
資産見返運営費交付金	1	
資産見返物品受贈額	2,621,486	
資産見返補助金	763,557,659	
資産見返寄附金	596,515	
長期借入金	9,187,335,976	
移行前地方債償還債務	2,935,275,031	
引当金		
退職給付引当金	3,435,006,223	
固定負債合計		16,387,436,425
II. 流動負債		
未払金	1,052,877,515	
預り金	50,458,685	
一年以内返済予定長期借入金	651,913,000	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	253,311,676	
引当金		
賞与引当金	352,373,120	
預り補助金	1,300,000	
前受収益	2,550,079	
未払消費税	6,341,200	
流動負債合計		2,371,125,275
負債合計		18,758,561,700
純資産の部		
I. 資本金		
設立団体出資金	2,322,148,685	
資本金合計		2,322,148,685
II. 繰越欠損金		
当期未処理損失	325,916,177	
(うち当期総利益)	(1,060,008,033)	
繰越欠損金合計		325,916,177
純資産合計		1,996,232,508
負債純資産合計		20,754,794,208

損益計算書

(令和 2年4月1日～令和 3年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	8,119,438,855	
外来収益	2,609,658,801	
その他医業収益	<u>482,299,834</u>	11,211,397,490
運営費負担金収益		660,183,295
運営費交付金収益		156,420,663
補助金等収益		2,188,111,738
寄附金収益		47,566,340
資産見返運営費負担金戻入		335,842,265
資産見返運営費交付金戻入		6,659,999
資産見返物品受贈額戻入		5,104,727
資産見返補助金等戻入		37,352,632
資産見返寄附金等戻入		2,825,277
受託収益		33,092,885
その他営業収益		<u>43,953,776</u>
営業収益合計		14,728,511,087
営業費用		
医業費用		
給与費	7,010,498,511	
材料費	2,735,644,769	
経費	2,033,712,678	
減価償却費	1,078,418,854	
研究研修費	<u>13,779,075</u>	12,872,053,887
一般管理費		
給与費	164,921,313	
経費	5,624,589	
研究研修費	<u>9,000</u>	170,554,902
営業費用合計		13,042,608,789
営業利益		<u>1,685,902,298</u>
営業外収益		
運営費負担金収益		55,833,307
財務収益		
受取利息	<u>1,037,525</u>	1,037,525
貸倒引当金戻入		88,812
その他営業外収益		<u>67,396,104</u>
営業外収益合計		124,355,748
営業外費用		
財務費用		
移行前地方債利息	61,858,617	
長期借入金利息	<u>109,069,540</u>	170,928,157
その他営業外費用		<u>577,897,864</u>
営業外費用合計		748,826,021
経常利益		<u>1,061,432,025</u>
臨時損失		
固定資産除却損		<u>1,423,992</u>
当期純利益		<u>1,060,008,033</u>
当期総利益		<u>1,060,008,033</u>

キャッシュ・フロー計算書

(令和 2年4月1日～令和 3年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

材料の購入による支出	△ 2,752,920,150
人件費支出	△ 7,086,190,338
その他の業務支出	△ 2,404,754,461
医業収入	11,225,297,315
運営費負担金収入	716,016,602
運営費交付金収入	156,420,663
補助金等収入	1,032,913,847
その他の収入	193,924,584
小計	1,080,708,062
利息の受取額	1,037,525
利息の支払額	△ 170,928,157
業務活動によるキャッシュ・フロー	910,817,430

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻による収入	500,000,000
定期預金の預入による支出	△ 2,000,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 789,271,437
無形固定資産の取得による支出	△ 37,430,195
補助金等による収入	329,576,260
運営費負担金収入	213,140,209
その他の支出	△ 2,178,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,786,163,163

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入	279,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 781,872,323
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 245,873,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 748,745,862

IV 資金増加額 △ 1,624,091,595

V 資金期首残高 3,769,406,042

VI 資金期末残高 2,145,314,447

損失の処理に関する書類

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額
I 当期末処理損失	325,916,177
当期総利益	1,060,008,033
前期繰越欠損金	1,385,924,210
II 次期繰越欠損金	325,916,177

行政サービス実施コスト計算書

(令和 2年4月1日～令和 3年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
I 業務費用		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用	12,872,053,887	
一般管理費	170,554,902	
営業外費用	748,826,021	
臨時損失	1,423,992	13,792,858,802
(2)(控除)自己収入等		
医業収益	△ 11,211,397,490	
受託収益	△ 33,092,885	
その他営業収益	△ 43,953,776	
寄附金収益	△ 47,566,340	
資産見返寄附金等戻入	△ 2,825,277	
営業外収益	△ 68,522,441	△ 11,407,358,209
業務費用合計		2,385,500,593
(うち減価償却充当補助金相当額)		(384,959,623)
II 引当外退職給付増加見積額		1,494,804
III 機会費用		
地方公共団体出資の機会費用	2,415,034	2,415,034
IV 行政サービス実施コスト		<u>2,389,410,431</u>

注 記 事 項

I 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準

期間進行基準を採用しております。

ただし、移行前地方債元金利息償還金、長期借入金元金利息償還金に要する経費については費用進行基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1)有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は、以下のとおりです。

建物	8 ～	39	年
構築物	15 ～	40	年
車両	4 ～	7	年
工具器具備品	4 ～	10	年

(2)無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間内の一定の年数(15年)による定額法により按分した額を、翌事業年度から費用処理することとしております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、会計基準第87により引当対象外とされた派遣職員について、会計基準第36に基づき計算された退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

医業未収金(患者負担分)の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率(回収不能率)により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. 有価証券の評価基準及び評価方法

該当ありません。

7. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1)医薬品 先入先出法に基づく低価法によっております。

(2)診療材料 先入先出法に基づく低価法によっております。

(3)貯蔵品 先入先出法に基づく低価法によっております。

8. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

岡山市出資等の機会費用の計算に使用した利率については、10年利付国債の令和3年3月末における利回りを参考に0.104%で計算しております。

9. リース取引の処理方法

リース料総額が300万を超えるファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 固定資産の減損の処理方法

1. 固定資産のグルーピングの方法

当法人においては、市民病院及びせのお病院の2施設を個別の固定資産グループとしております。

2. 共用資産の概要

共用資産はありません。

III キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	4,145,314,447 円
現金及び預金勘定のうち定期預金	△ 2,000,000,000 円
資金期末残高	<u>2,145,314,447 円</u>

2. 重要な非資金取引

該当ありません。

IV 退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要

当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用しております。
当該制度においては、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	3,305,896,090 円
勤務費用	277,338,255 円
利息費用	26,438,482 円
数理計算上の差異の当期発生額	10,538,293 円
退職給付の支払額	△ 220,075,544 円
期末における退職給付債務	<u>3,400,135,576 円</u>

(2) 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の未積立退職給付債務	3,400,135,576 円
未認識数理計算上の差異	34,870,647 円
退職給付引当金	<u>3,435,006,223 円</u>

(3) 退職給付に関連する損益

・ 勤務費用	277,338,255 円
・ 利息費用	26,438,482 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	263,539 円
合計	<u>304,040,276 円</u>

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

割引率(イールドカーブ等価アプローチを採用しております。) 0.8 %

V 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については短期的な資金に限定し、また、設立団体からの長期借入により資金を調達しております。資金の用途については、事業投資資金(長期)です。

医業未収金等、未収債権等については、会計規定等に沿ってリスク低減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりです。

なお、重要性の乏しいものについては、注記を省略しております。

(単位:円)

	貸借対照表 計上額(※)	時価(※)	差額(※)
(1) 現金及び預金	4,145,314,447	4,145,314,447	-
(2) 医業未収金 (貸倒引当金控除後)	2,107,369,277	2,107,369,277	-
(3) 未収金	1,418,495,679	1,418,495,679	-
(4) 未払金	(1,052,877,515)	(1,052,877,515)	-
(5) 移行前地方債償還債務 (1年以内返済予定を含む)	(3,188,586,707)	(3,574,552,526)	(385,965,819)
(6) 長期借入金 (1年以内返済予定を含む)	(9,839,248,976)	(10,709,041,421)	(869,792,445)

(※)医業未収金は貸倒引当金控除後で示しております。

(※)負債に計上されているものは、()で示しております。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)現金及び預金、(2)医業未収金、(3)未収金並びに(4)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

(5)移行前地方債償還債務及び(6)長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

VI 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払が発生する重要なものはありません。

2 財 務 諸 表

(附 属 明 細 書)

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引期末残高	適用
					当期償却額	当期償却額		
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	10,487,849,499	256,326,000	-	10,744,175,499	2,655,024,399	460,363,870	8,089,151,100
	構築物	1,656,263,209	-	-	1,656,263,209	373,196,229	63,036,847	1,283,066,980
	車両運搬具	19,012,134	-	-	19,012,134	17,872,886	814,720	1,139,248
	工具器具備品	5,070,083,254	540,491,323	98,674,609	5,511,899,968	4,429,853,322	499,750,307	1,082,046,646
	計	17,233,208,096	796,817,323	98,674,609	17,931,350,810	7,475,946,836	1,023,965,744	10,455,403,974
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	-	-	-	-	-	-	-
	構築物	-	-	-	-	-	-	-
	車両運搬具	-	-	-	-	-	-	-
	工具器具備品	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-
非償却資産	土地	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000
	建設仮勘定	-	278,425	-	278,425	-	-	278,425
	計	1,891,720,000	278,425	-	1,891,998,425	-	-	1,891,998,425
	土地	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000
	建物	10,487,849,499	256,326,000	-	10,744,175,499	2,655,024,399	460,363,870	8,089,151,100
有形固定資産 (合計)	構築物	1,656,263,209	-	-	1,656,263,209	373,196,229	63,036,847	1,283,066,980
	車両運搬具	19,012,134	-	-	19,012,134	17,872,886	814,720	1,139,248
	工具器具備品	5,070,083,254	540,491,323	98,674,609	5,511,899,968	4,429,853,322	499,750,307	1,082,046,646
	建設仮勘定	-	278,425	-	278,425	-	-	278,425
	計	19,124,928,096	797,095,748	98,674,609	19,823,349,235	7,475,946,836	1,023,965,744	12,347,402,399
無形固定資産	ソフトウェア	550,632,068	42,430,195	-	593,062,263	462,354,396	53,000,089	130,707,867
	その他無形固定資産	14,054,342	-	-	14,054,342	8,597,041	1,453,021	5,457,301
	計	564,686,410	42,430,195	-	607,116,605	470,951,437	54,453,110	136,165,168
	長期貸付金	520,786	-	-	520,786	-	-	520,786
	長期前払費用	557,890,869	79,528,834	109,130,219	528,289,484	-	-	528,289,484
投資その他の資産	長期前払費用	1,152,000	2,178,000	-	3,330,000	-	-	3,330,000
	その他投資	564,250,737	81,706,834	109,130,219	536,827,352	-	-	536,827,352
	計	564,250,737	81,706,834	109,130,219	536,827,352	-	-	536,827,352

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		当期購入・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	65,147,672	1,668,025,565	-	1,673,312,395	856,469	59,004,373	
診療材料	691,790	1,027,542,541	-	1,027,638,094	-	596,237	
貯蔵品	525,898	34,445,284	-	34,380,224	-	590,958	
計	66,365,360	2,730,013,390	-	2,735,330,713	856,469	60,191,568	

(注) 当期減少額のその他には、期限切れによる廃棄をした資産等を記載しております。

(3)長期貸付金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			回収額	償却額		
その他長期貸付金						
認定看護師等奨学金貸与	5,207,868	-	-	-	5,207,868	
計	5,207,868	-	-	-	5,207,868	

(4) 長期借入金の明細

病院別	種 別	期首残高	当期増加	当期減少	償還高累計	期末残高	利 率	返済期限	摘 要
市 民 病 院	平成26年度 建設改良資金借入金	9,072,000,000	-	313,181,721	313,181,721	8,758,818,279	1.200%	平成27年3月25日	～
	平成27年度 建設改良資金借入金	191,510,230	-	-	861,800,000	-	0.060%	平成28年3月31日	～
	平成28年度 建設改良資金借入金	90,041,536	-	191,510,230	-	-	0.133%	平成29年3月31日	～
	平成29年度 建設改良資金借入金	232,464,000	-	45,020,768	157,574,232	45,020,768	0.228%	平成30年3月31日	～
	平成30年度 建設改良資金借入金	28,900,000	-	77,488,000	193,724,000	154,976,000	0.010%	平成31年3月28日	～
	平成31年度 建設改良資金借入金	41,200,000	-	10,300,000	20,600,000	28,900,000	0.010%	令和1年3月20日	～
	平成32年度 建設改良資金借入金	231,600,000	-	57,900,000	115,800,000	30,900,000	0.115%	令和2年3月29日	～
	令和元年度 建設改良資金借入金	10,000,000	-	-	-	173,700,000	0.003%	令和3年3月29日	～
	令和2年度 建設改良資金借入金	22,900,000	-	4,580,000	4,580,000	10,000,000	0.002%	令和4年3月30日	～
	令和3年度 建設改良資金借入金	158,300,000	-	31,660,000	31,660,000	18,320,000	0.080%	令和5年3月20日	～
	令和4年度 建設改良資金借入金	-	5,400,000	-	-	126,640,000	0.003%	令和6年3月20日	～
	令和5年度 建設改良資金借入金	-	16,000,000	-	-	5,400,000	0.350%	令和7年3月29日	～
	令和6年度 建設改良資金借入金	-	159,800,000	-	-	16,000,000	0.185%	令和8年3月31日	～
	令和7年度 建設改良資金借入金	-	-	-	-	159,800,000	-	令和8年3月29日	～
	小 計	10,078,915,766	181,200,000	731,640,719	1,698,924,953	9,528,475,047	-	-	-
せ の お 病 院	平成26年度 建設改良資金借入金	10,782,213	-	2,147,830	8,565,617	8,634,383	0.200%	平成27年3月25日	～
	平成27年度 建設改良資金借入金	9,676,328	-	2,415,456	7,239,128	7,260,872	0.100%	平成28年3月25日	～
	平成28年度 建設改良資金借入金	1,777,770	-	1,777,770	8,000,000	-	0.060%	平成29年3月31日	～
	平成29年度 建設改良資金借入金	5,162,758	-	737,316	1,474,558	4,425,442	0.010%	平成30年3月30日	～
	平成30年度 建設改良資金借入金	6,266,464	-	3,133,232	10,966,768	3,133,232	0.133%	平成31年3月31日	～
	平成31年度 建設改良資金借入金	17,800,000	-	2,225,000	2,225,000	15,575,000	0.010%	令和1年3月29日	～
	平成32年度 建設改良資金借入金	85,620,000	-	28,540,000	85,620,000	57,080,000	0.010%	令和2年3月29日	～
	令和元年度 建設改良資金借入金	6,300,000	-	1,575,000	1,575,000	4,725,000	0.010%	令和3年3月28日	～
	令和2年度 建設改良資金借入金	46,400,000	-	-	-	46,400,000	0.010%	令和4年3月20日	～
	令和3年度 建設改良資金借入金	14,720,000	-	3,680,000	7,360,000	11,040,000	0.115%	令和5年3月29日	～
	令和4年度 建設改良資金借入金	38,700,000	-	-	-	38,700,000	0.003%	令和6年3月30日	～
	令和5年度 建設改良資金借入金	20,000,000	-	4,000,000	4,000,000	16,000,000	0.080%	令和7年3月31日	～
	令和6年度 建設改良資金借入金	-	12,300,000	-	-	12,300,000	0.350%	令和8年3月29日	～
	令和7年度 建設改良資金借入金	-	16,300,000	-	-	16,300,000	0.185%	令和9年3月31日	～
	令和8年度 建設改良資金借入金	-	69,200,000	-	-	69,200,000	0.185%	令和10年3月29日	～
	小 計	263,205,533	97,800,000	50,231,604	137,028,071	310,773,929	-	-	-
合 計		10,342,121,299	279,000,000	781,872,323	1,835,951,024	9,839,248,976	-	-	-

(5) 移行前地方債償還債務の明細

病院別	種 別	期首残高	当期増加	当期減少	償還高累計	期末残高	利 率	返済期限	摘 要
市 民 病 院	平成23年度 財政融資資金	円 84,344,545	-	円 3,191,087	円 12,448,542	円 81,153,458	1.700%	平成24年3月26日 令和24年3月1日	~
	平成24年度 財政融資資金	2,897,959,190	-	106,375,492	314,416,302	2,791,583,698	1.500%	平成25年3月25日 令和25年3月1日	~
	平成25年度 財政融資資金	54,791,289	-	1,935,527	3,844,238	52,855,762	1.400%	平成26年3月25日 令和26年3月1日	~
	小 計	3,037,095,024	-	111,502,106	330,707,082	2,925,592,918			
	平成33年度 資金運用部資金	111,369,107	-	42,888,790	608,519,683	68,480,317	5.050%	平成44年10月12日 令和49年9月25日	~
せ の お 病 院	平成44年度 資金運用部資金	280,013,497	-	89,306,227	1,326,292,730	190,707,270	4.400%	平成55年3月25日 令和59年3月25日	~
	平成55年度 資金運用部資金	4,595,348	-	1,254,146	19,658,798	3,341,202	3.650%	平成66年2月10日 令和69年9月25日	~
	平成72年度 財政融資資金	464,270	-	464,270	3,600,000	-	0.900%	平成73年3月25日 令和3年3月1日	~
	平成73年度 繰越資金	923,000	-	458,000	3,435,000	465,000	1.005%	平成74年3月30日 令和4年3月29日	~
	小 計	397,365,222	-	134,371,433	1,961,506,211	262,993,789			
合 計		3,434,460,246	-	245,873,539	2,292,213,293	3,188,586,707			

(6) 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	3,351,041,491	304,040,276	220,075,544	-	3,435,006,223	
賞与引当金	343,129,203	352,373,120	343,129,203	-	352,373,120	
貸倒引当金	9,571,778	3,442,136	3,920,666	88,812	9,004,436	
計	3,703,742,472	659,855,532	567,125,413	88,812	3,796,383,779	

貸倒引当金の「当期減少額(その他)」は差額補充法による戻入額であります。

(7) 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
資本金	岡山市出資金	2,322,148,685	-	-	2,322,148,685	
	計	2,322,148,685	-	-	2,322,148,685	
資本剰余金	資本剰余金	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	

(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

①運営費負担金債務

負担年度	期首残高	負担金 当期交付額	当期振替額				期末残高	摘 要
			運営費負担金 収益	資産見返 運営費負担金	資本剰余金	小 計		
令和2年度	-	929,156,811	716,016,602	213,140,209	-	929,156,811	-	
合計	-	929,156,811	716,016,602	213,140,209	-	929,156,811	-	

(単位:円)

注) 資産見返運営費負担金については、長期借入金の元本償還に対する負担金であり、対象資産の減価償却費を限度として、元本償還相当額を収益化しています。

②運営費負担金収益

業務等区分	(単位:円)	
	令和2年度 負担分	合 計
期間進行基準	536,399,796	536,399,796
費用進行基準	179,616,806	179,616,806
合計	716,016,602	716,016,602

(9) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細

①運営費交付金債務

負担年度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高	摘 要
			運営費交付金 収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小 計		
令和2年度	-	156,420,663	156,420,663	-	-	156,420,663	-	
合計	-	156,420,663	156,420,663	-	-	156,420,663	-	

(単位:円)

②運営費交付金収益

業務等区分	(単位:円)	
	令和2年度 負担分	合 計
期間進行基準	156,420,663	156,420,663
費用進行基準	-	-
合計	156,420,663	156,420,663

(単位:円)

(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細

補助金等の明細

(単位:円)

病院別	区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘 要
			施設仮勘定 補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	預り 補助金等	収益計上	
市民病院	臨床研修費等補助金	13,564,000					13,564,000	
	臨床研修費等補助金(協力型)	5,941,666					5,941,666	
	救急救命士病院実習受入促進事業費補助金	1,241,000					1,241,000	
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (救急勤務医支援事業)	464,000					464,000	
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (院内保育運営事業)	2,119,000					2,119,000	
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (地域医療連携推進事業)	1,000,000		1,000,000				
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (新人看護職員研修事業)	693,000					693,000	
	病院群輪番制病院等運営事業補助金	2,983,680					2,983,680	
	岡山市ICTを活用した退院支援等環境整備補助 金	272,000					272,000	
	岡山県看護師の特定行為研修助成事業補助金	300,000					300,000	
	医療施設運営費等補助金(看護師の特定行為に 係る研修機関導入促進支援事業)	3,279,000					3,279,000	
	特定求職者雇用開発助成金	330,000					330,000	
	岡立支援等助成金	525,652					525,652	
	小山基金助成金	1,300,000				1,300,000		
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院病 床確保事業補助金	2,077,646,000		257,534,389			1,820,111,611	
	岡山県新型コロナウイルス感染症入院患者受入 支援給付金	219,400,000					219,400,000	
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者受入医療 機関支援補助金	8,000					8,000	
	岡山県新型コロナ感染症重点医療機関等設備整 備費補助金	120,808,000		120,808,000				
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院医 療機関等設備整備費補助金(新型コロナウイルス 感染症患者等入院医療機関設備整備事業)	9,445,000		8,439,800			1,005,200	
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院医 療機関等設備整備費補助金(帰国者・接触者外来 等設備整備事業)	1,757,000		1,315,000			442,000	
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院医 療機関等設備整備費補助金(感染症検査機関等 設備整備事業)	13,200,000		13,200,000				
	岡山県新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入 れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業 費補助金	150,309,000		118,470,000			31,839,000	
	岡山県新型コロナウイルス感染症に係る医療従事 者危険手当補助金	12,999,000					12,999,000	
	インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス 感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小 児医療機関体制確保事業補助金	24,000,000		17,306,000			6,694,000	
	インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制 確保支援補助金	54,527,000					54,527,000	
	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療 機関緊急支援事業補助金	25,911,000		25,911,000				
	新型コロナウイルス感染症対応医療機関労災給 付上乗せ補償保険加入支援事業補助金	314,000					314,000	
	小計	2,744,336,998	-	563,984,189	-	1,300,000	2,179,052,809	
せ の お 病 院	休日当番医による都道府医師会より補助金	170,000					170,000	
	岡山市ICTを活用した退院支援等環境整備補助 金	295,000		171,600			123,400	
	岡山県医療機関・薬局等における感染拡大防止 等支援事業補助金	5,000,000		4,398,471			601,529	
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提 供体制確保支援補助金	3,250,000					3,250,000	
	インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制 確保支援補助金	4,792,000					4,792,000	
	インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制 確保支援補助金	122,000					122,000	
	小計	13,629,000	-	4,570,071	-	-	9,058,929	
合計		2,757,965,998	-	568,554,260	-	1,300,000	2,188,111,738	

(11) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬又は給与		退職給与	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	32,138 (780)	2 (5)	- (-)	- (-)
職 員	5,019,886 (867,758)	718 (336)	220,076 (-)	44 (-)
合 計	5,052,024 (868,538)	720 (341)	220,076 (-)	44 (-)

(注1)支給額及び支給人員

非常勤職員については、外数として()内に記載しております。

また、支給人員については平均支給人員で記載しております。

(注2)役員報酬基準及び職員給与基準の概要

役員報酬については、「地方独立行政法人岡山市立総合医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しております。

職員については、「地方独立行政法人岡山市立総合医療センター職員給与規程」に基づき支給しております。

(注3)法定福利費

上記明細には法定福利費は含めておりません。

(12) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区 分	岡山市立市民病院	岡山市立せのお病院	合 計
営業収益			
医業収益	13,657,770,509	1,070,740,578	14,728,511,087
運営費負担金収益	10,390,820,540	820,576,950	11,211,397,490
運営費交付金収益	447,947,444	212,235,851	660,183,295
補助金等収益	155,894,783	525,880	156,420,663
寄附金収益	2,179,052,809	9,058,929	2,188,111,738
資産見返運営費負担金戻入	47,536,340	30,000	47,566,340
資産見返運営費交付金戻入	310,068,402	25,773,863	335,842,265
資産見返物品受贈額戻入	6,659,999	-	6,659,999
資産見返補助金等戻入	4,670,723	434,004	5,104,727
資産見返寄附金等戻入	36,517,611	835,021	37,352,632
受託収益	2,825,277	-	2,825,277
その他営業収益	31,822,805	1,270,080	33,092,885
営業費用	43,953,776	-	43,953,776
医業費用	12,138,212,334	904,396,455	13,042,608,789
一般管理費	11,967,657,432	904,396,455	12,872,053,887
営業損益	170,554,902	-	170,554,902
営業外収益	1,519,558,175	166,344,123	1,685,902,298
運営費負担金収益	101,280,933	23,074,815	124,355,748
財務収益	39,190,364	16,642,943	55,833,307
貸倒引当金戻入	1,031,629	5,896	1,037,525
その他営業外収益	-	88,812	88,812
営業外費用	61,058,940	6,337,164	67,396,104
財務費用	707,971,290	40,854,731	748,826,021
その他営業外費用	154,236,983	16,691,174	170,928,157
経常損益	553,734,307	24,163,557	577,897,864
	912,867,818	148,564,207	1,061,432,025
総資産			
(主要資産内訳)	19,121,640,885	1,633,153,323	20,754,794,208
固定資産			
有形固定資産	11,714,603,866	632,798,533	12,347,402,399
流動資産	3,333,658,824	811,655,623	4,145,314,447
医業未収金	1,979,753,426	134,203,645	2,113,957,071

(注)

セグメントの区分については、地方独立行政法人岡山市立総合医療センター会計規程に基づく経理単位としておりますが、法人本部については、岡山市立市民病院に包括しております。

(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

① 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目	金 額
営業費用	
医業費用	12,872,053,887
給与費	7,010,498,511
給料及び手当	3,930,449,399
賞与	995,154,047
賃金及び報酬	706,920,395
法定福利費	1,075,510,289
退職給付費用	302,464,381
材料費	2,735,644,769
薬品費	1,464,427,516
診療材料費	1,027,638,094
給食材料費	13,790,737
医療消耗備品費	20,047,074
検査材料費	209,741,348
経費	2,033,712,678
厚生福利費	28,010,274
報償費	83,884,338
旅費交通費	228,461
職員被服費	2,954,160
消耗品費	57,246,312
消耗備品費	55,057,349
光熱水費	215,723,215
燃料費	9,141,838
食糧費	34,696
印刷製本費	8,888,841
修繕費	142,298,527
保険料	24,508,654
賃借料	148,632,715
通信運搬費	21,227,125
手数料	166,916,268
委託費	1,056,726,406
諸会費	4,537,789
広告費	1,410,838
図書費	147,346
負担金	3,200,000
雑費	433,621
租税公課	1,800
賞倒引当金繰入額	2,296,209
交際費	205,896
減価償却費	1,078,418,854
建物減価償却費	460,363,870
構築物減価償却費	63,036,847
車両運搬具減価償却費	814,720
工具器具備品減価償却費	499,750,307
無形固定資産減価償却費	54,453,110
研究研修費	13,779,075
謝金	811,023
図書費	8,483,871
旅費	591,447
研究雑費	3,892,734
一般管理費	170,554,902
給与費	164,921,313
給料及び手当	80,879,713
賞与	23,183,503
賃金及び報酬	32,754,849
法定福利費	26,527,353
退職給付費用	1,575,895
経費	5,624,589
食糧費	2,695
保険料	179,210
手数料	385
委託費	4,315,473
図書費	40,800
負担金	1,085,626
租税公課	400
研究研修費	9,000
図書費	9,000
営業費用合計	13,042,608,789

② 現金及び預金の内訳

(単位:円)

区 分	期末残高	説 明		備 考
		市民病院	せのお病院	
現金	9,190,295	8,810,295	380,000	窓口収入、釣銭準備金、 両替機分
普通預金	2,136,124,152	1,324,848,529	811,275,623	
定期預金	2,000,000,000	2,000,000,000	0	満期日:令和3年4月15日
計	4,145,314,447	3,333,658,824	811,655,623	

③ 医業未収金の内訳

(単位:円)

区 分	期末残高	説 明		備 考
		市民病院	せのお病院	
社会保険診療報酬支払基金岡山支部	592,159,448	576,091,220	16,068,228	
国民健康保険団体連合会	1,373,121,918	1,261,541,381	111,580,537	
その他	148,675,705	142,120,825	6,554,880	
計	2,113,957,071	1,979,753,426	134,203,645	

3 添 付 資 料

- 令和 2年度 決算報告書
- 令和 2年度 事業報告書

決 算 報 告 書

令和2年度決算報告書

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額－予算額)	備 考
収入	14,620,000,000	15,587,034,249	967,034,249	
営業収益	14,080,000,000	14,609,328,530	529,328,530	
医業収益	12,886,000,000	11,259,793,689	△ 1,626,206,311	
運営費負担金収益	1,063,000,000	3,217,855,905	2,154,855,905	
その他営業収益	131,000,000	131,678,936	678,936	
営業外収益	113,000,000	128,851,459	15,851,459	
運営費負担金収益	57,000,000	55,833,307	△ 1,166,693	
その他営業外収益	56,000,000	73,018,152	17,018,152	
資本的収入	427,000,000	848,854,260	421,854,260	
長期借入金	425,000,000	279,000,000	△ 146,000,000	
運営費負担金収入	0	0	0	
その他資本収入	2,000,000	569,854,260	567,854,260	
支出	14,466,000,000	14,523,593,038	57,593,038	
営業費用	12,745,000,000	12,394,022,827	△ 350,977,173	
医業費用	12,553,000,000	12,224,469,742	△ 328,530,258	
給与費	7,114,000,000	6,934,286,956	△ 179,713,044	
材料費	3,116,000,000	3,017,725,730	△ 98,274,270	
経費	2,269,000,000	2,257,844,910	△ 11,155,090	
研究研修費	54,000,000	14,612,146	△ 39,387,854	
一般管理費	192,000,000	169,553,085	△ 22,446,915	
営業外費用	181,000,000	178,667,387	△ 2,332,613	
臨時損失	0	0	0	
資本的支出	1,540,000,000	1,950,902,824	410,902,824	
建設改良費	489,000,000	923,156,962	434,156,962	
償還金	1,048,000,000	1,027,745,862	△ 20,254,138	
その他資本支出	3,000,000	0	△ 3,000,000	
その他支出	0	0	0	
単年度資金収支(収入－支出)	154,000,000	1,063,441,211	909,441,211	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分等の相違の概要は、以下のとおりです。

- (1) 損益計算書の営業収益に計上されている資産見返運営費負担金戻入、資産見返運営費交付金戻入、資産見返物品受贈額戻入、資産見返補助金等戻入及び資産見返寄附金戻入は、決算額に含んでおりません。
- (2) 損益計算書の営業費に計上されている、減価償却費は、決算額には含まれておりません。
また、非現金支出の退職給付費用、貸倒引当金繰入額、控除対象外消費税等は決算額に含めず、退職金支払額を決算額に含めています。
- (3) 損益計算書の営業外収益に計上されている貸倒引当金戻入は、決算額には含んでおりません。
- (4) 上記数値は、消費税等込の金額を記載しております。

令和2年度 事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

目次

「地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの概要」

1	現況	
(1)	法人名	1
(2)	本部の所在地	1
(3)	役員の状況	1
(4)	運営する病院	1
(5)	職員数	2
2	入院及び外来患者数	2
3	基本的な目標	2
4	基本理念	2
5	基本方針	
	【岡山市立市民病院】	3
	【岡山市立せのお病院】	3

「全体状況」

1	法人運営の総括	3
2	大項目ごとの特記事項	
第1	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第4	その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第5	予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	
1	令和2年度 予算	8
2	令和2年度 収支計画（損益計画）	9
3	令和2年度 資金計画	10
第6	短期借入金の限度額	11
第7	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	11
第8	剰余金の使途	11
第9	地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	
1	施設及び設備に関する計画	11

「地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの概要」

1 現況（令和2年4月1日現在）

（1）法人名

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター

（2）本部の所在地

岡山市北区北長瀬表町三丁目20番1号

（3）役員の状況

役職名	氏名	備考
理事長	松本 健五	岡山市立市民病院長兼務
常務理事	片山 伸二	法人本部長兼務 法人本部事務局長兼務
理 事	金澤 右	岡山大学理事 岡山大学病院長
	東 良平	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター名誉院長
	高橋 邦彰	岡山商工会議所専務理事 岡山県商工会議所連合会専務理事
	今城 健二	岡山市立市民病院副院長兼務
	臼井 正明	岡山市立市民病院副院長兼務
監 事	吉沢 徹	弁護士
	大倉 宏治	公認会計士・税理士

（4）運営する病院

病院名	所在地	病床数
岡山市立 市民病院	岡山市北区北長瀬表町 三丁目20番1号	400 床 ・ 一般病床 387 床 ・ 結核病床 7 床 ・ 感染症病床 6 床
岡山市立 せのお病院	岡山市南区妹尾 850 番地	60 床 ・ 一般病床 — ・ 地域包括ケア病床 60 床

(5) 職員数

区分	医師	看護師	事務員	臨床検査 技師ほか	計
特別職	1 人	0 人	1 人	0 人	2 人
正規職員	76 人	418 人	56 人	157 人	707 人
嘱託職員	9 人	0 人	12 人	23 人	44 人
再雇用職員	0 人	6 人	6 人	5 人	17 人
非正規職員	92 人	81 人	82 人	52 人	307 人
計	178 人	505 人	157 人	237 人	1,077 人

※岡山市からの派遣職員を含む。

※職員を兼ねる役員を含む。

2 入院及び外来患者数

病院名	入院患者	外来患者
岡山市立市民病院	106,345 人	121,112 人
岡山市立せのお病院	19,000 人	13,003 人

※令和2年度における延べ患者数

3 基本的な目標

地方独立行政法人岡山市立総合医療センターは、岡山市の医療政策として求められる救急医療、感染症医療、災害時における医療及び高度医療の提供、地域医療の支援等を行うことにより、岡山市内における医療水準の向上を図り、もって市民の生命と健康を守ることを目的とし、市民に必要とされる医療を確実に実施する。

また、柔軟で迅速な人材確保など、機動性・弾力性が高く、自律的な経営を実践するとともに、市民へのより良い医療の提供と、より効果的・効率的な病院運営を行い、地域医療の推進のための重要な役割を担うことにより、岡山市長から指示された中期目標を達成する。

4 基本理念

心技体

- ・心の通い合う医療の提供
- ・質の高い安全な医療の提供
- ・健全で自立した経営と働きやすい職場

5 基本方針

【岡山市立市民病院】

私たちは、市民に信頼され、期待される病院であり続けるために、次のことを実践します。

1. 患者中心の医療

患者に対し十分な説明と同意のもとに医療を提供し、かつ、診療情報を積極的に公開し、患者の尊厳・権利を尊重する患者中心の全人的医療を行います。

2. 医療水準の向上

総合的医療機能を基盤に、高度・特殊・先駆的医療等を担い、さらに地域医療を担う医師の育成、医療従事者の研修の場としての役割を果たし、地域の医療水準の向上に努めます。

3. 安全な医療

患者に安心と信頼をもたらす医療を提供し、また、職員に希望と誇りを育み、充実して働きやすい職場環境を推進します。

4. 地域医療への貢献

地域の医療機関との連携を密にし、また、救急医療を積極的に推進し、市民に愛され信頼される地域の中核病院としての役割を果たします。

5. 健全経営の確保

自治体病院に期待される健康危機管理機能の強化等の公共性を確保するとともに、合理的かつ効率的な病院経営に努めることにより、健全で自立した経営基盤を確立します。

【岡山市立せのお病院】

- ・医療を受ける人の立場に立ち、心のこもった医療を実践します。
- ・患者の権利を尊重し、満足のいく医療を行います。
- ・健全な病院経営に努め、良質な医療サービスを提供します。
- ・保健、福祉、医療の連携のもとに、安心して生活できる地域づくりを推進します。
- ・職員の医療人としての資質の向上に努めます。

「全体状況」

1 法人運営の総括

第2期中期計画の3年目となる今年度は、岡山市長から指示された第2期中期目標を達成するため、法人本部の機能強化や市民病院における部署の統廃合を実施し、医療機能の強化や経営基盤の効率化等に取り組んだ。しかし、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）患者の受入れや感染対策等への対応を余儀なくされ、その影響は大きなものとなった。

市民病院においては、「断らない救急」の実現のため、救急車の不応需に対してベッドコントロール部門、地域医療連携部門などを中心に改善に努めた。また、救急部門と集中治療部門の一体化などによる機能強化等の検討を行った。災害医療については、事業継続計画（BCP）に基づき訓練を行い、災害発生時の医療活動に備えた医薬品、水、食料等の維持管理を行った。しかし、新型コロナの影響により、災害医療研修、災害派遣医療チーム（DMAT）の養成、訓練は中止となった。一方、新型コロナという緊急時に迅速かつ適切な医療提供のできる拠点機能を確保し、

新型コロナの重点医療機関の指定を受けた。

感染症医療については、新型コロナに関して、岡山市保健所及び岡山県との連絡を緊密に行いながら院内体制を構築し、県内発生に対応し、新型コロナの重点医療機関の指定を受けた。また、患者の受入れや市民への啓発を行う等、第二種感染症指定医療機関としての役割を果たした。

教育・人材育成については、岡山大学の学外実習受入や卒後臨床研修などを実施したほか、大学院制度においては、実践総合診療学講座等を開講し、引き続き救急医療現場での人材育成を行った。

せのお病院においては、全床を地域包括ケア病床とし、市民病院をはじめとする急性期病院の後方支援として、また、診療所や介護サービス事業所等との密な連携をとり、患者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるようカンファレンスを増やした。

2 大項目ごとの特記事項

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

救急医療については、新型コロナの影響により、救急患者数、救急車応需率ともに目標値を達成できなかった。救急車応需率の低下については、新型コロナ患者を早期より受け入れると同時に、病棟改修工事や看護師の教育等、多くの新型コロナ患者の入院が可能となるよう体制整備に努めた影響を大きく受けた結果である。前方連携に関しては、従来実践していたモバイルE Rはコロナ禍での実践は感染リスクが大きいと判断し中止した。後方連携に関しては、当初は新型コロナウイルスへの感染が否定できない患者について転院困難になる等の影響があったが、年度後半からは感染を判断する迅速検査の導入により、転院を再開することができた。人材育成に関しては、「屋根瓦式教育」により、前年度に引き続き人材育成に努めた。

感染症医療については、岡山市保健所及び岡山県と連絡を緊密に行いながら院内体制を構築し、新型コロナの県内発生に対応し、重点医療機関の指定を受けた。また、感染防止について市民への啓発も行い、第二種感染症指定医療機関としての役割を果たした。

災害医療については、市民病院における事業継続計画（BCP）に基づき、訓練を行った。しかし、新型コロナの影響により、災害派遣医療チーム（DMAT）の継続的な訓練や新規養成は中止となった。一方で、新型コロナという緊急時に迅速かつ適切な医療提供のできる拠点機能を確保し、新型コロナの重点医療機関の指定を受けた。

高度専門医療については、がん治療では、新型コロナの影響により、外来紹介や受診機会が減少し、全体の外来、入院数はやや低下した。そういった中ではあるが、必要な手術療法や化学療法では、新型コロナの感染予防などを徹底することで、患者により安全に治療を行うことができた。脳卒中治療では、新型コロナの流行拡大を契機に、多職種のスタッフが合同で、感染症患者に対する手術及びIVRのシミュレーションを繰り返し行い、新型コロナ患者の脳卒中手術に対応可能な院内体制づくりに努めた。急性心筋梗塞では、検査・治療を要するケースについて、すべてに遅滞なく対応し、質の高い治療を実施した。また、糖尿病治療では、365日院内の回診を行い、糖尿病患者のみでなく、新型コロナ患者を含む他科

との併診の糖尿病患者についても、医師同士連携して安全に血糖コントロールを行った。

せのお病院については、高度医療機器（ＣＴ・ＭＲＩ）の共同利用などにより地域医療へ貢献した。また、新型コロナの影響により、市民病院からの転院は減少したが、近隣急性期病院からの転院は増加傾向にあり、急性期病院の後方支援病院としての役割を果たした。

安全・安心な医療の提供については、多職種による医療安全管理室会議を週１回、医療安全管理委員会を月１回定期的に開催し、問題点を洗い出し協議して、改善策を講じた。

院内感染対策については、院内感染対策委員会の毎月開催や院内感染管理システムを利用することで、耐性菌キャリアを含むサーベイランスを強化した。新型コロナ感染対策については、厚生労働省からの通知に迅速に対応しつつ、院内体制を構築し、新型コロナの県内発生に対応した。また、職員の健康管理や入院・外来患者の管理を徹底した。依頼のあった確定患者及び疑似症例の患者を全て受け入れたが、院内感染の発生はなかった。また、このことは、近隣病院から院内感染対策のモデルとして評価され、指導も行った。

総合情報システムについては、令和４年度に予定していたファイアーウォールルーターの更新を前倒しで行い、急増したＷｅｂ会議、ＴＶ面会などがストレスなく行えるよう通信環境の改善を行った。

クリニカルパスについては、医療者用クリニカルパスに加え、患者用クリニカルパスを作成し配備した。パス使用率は５６％に上昇した。令和２年度から、入退院管理支援センターが主導となり、各関係職種（医師、看護師、薬剤師、事務等）の視点からクリニカルパスの見直しを実施し、計５件のパス改訂を行った。

治験・新薬販売後調査・臨床試験については、新型コロナ蔓延に伴う案件の減少がある中、依頼された案件については十分に遂行できた。

インフォームドコンセントについては、前年度に引き続き、確実な履行に努め、患者との関係づくりに寄与するため、職員が医療メディエーターの研修を受講した。

薬剤管理については、薬剤管理指導件数、無菌製剤処理件数及び外来化学療法件数ともに、目標値を上回った。外来における、がん化学療法を地域の薬剤師と連携することに対して新設された連携充実加算についても基準への適合ができるように体制を整備し実施した。

患者満足度調査については、特に入院患者においては面会制限等患者にとって厳しい療養環境であったにも関わらず、徹底した感染防止対策が評価され、満足度は向上した。

市民や患者への情報発信については、院外広報誌を年３回発行したほか、ホームページやフェイスブックで診療・健康・疾病予防、病院の役割・機能・経営情報等について、定期的に情報発信した。新型コロナ関連での取材対応で新聞・テレビ・ラジオなどへの露出件数が大幅に増加し、市民への啓発に大きく貢献した。

地域医療支援病院としては、前年度に引き続き、地域の保健・医療・福祉に関する情報を把握し、地域医療を支援した。急性期治療が終了した患者が円滑に在宅復帰できるよう、地域の医療・福祉関係者と連携して多職種による退院支援を行った。新型コロナの影響により地域医療機関への訪問や集合形式の研修が困難な状況の中、広報紙の発刊や情報通信技術（ＩＣＴ）の活用等により引き続き顔の見える関係づくりを構築した。

教育及び人材育成については、岡山大学と連携し、学外実習や卒後臨床研修などを実施した。また、指導医教育にも取り組み、臨床研修指導医は昨年度から増減はなく５１名であっ

た。人材開発センターを組織として整備し、階層別にキャリアに応じたプログラムを計画し、研修を開始した。

保健医療福祉行政への協力については、地域ケア総合推進センターとカンファレンスを実施し、新型コロナに関する研修会を共催で開催することができた。また、次年度に向けて会議の定例化を計画し、当院患者への院内行事及びセンターが開催する地域住民に向けた研修等の事業に相互に協力する方向で検討を始めた。

市民の疾病予防の取組については、新型コロナの影響により市民公開講座は開催できなかった。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

法人経営については、病院の運営に関する懸案事項について定期的に協議・検討を行い、病院運営方針の決定を行っている幹部会議・戦略会議の報告書をポータルサイトに毎会議後に掲載し、職員の病院経営に関する認識や意識の共有を図った。

外部機能評価の活用については、各部門においてマニュアル作成が進み、業務の見直しや改善に積極的に取り組むことができた。

研修制度の充実及び資格取得への支援については、認定看護師の制度が一部変更となり、修業年限が長くなった中で、クリティカルケア領域で1名が就学することが決まった。

職場環境の整備については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療体制の変更や追加に伴う職員の負担を軽減するため、看護師を中途採用し、派遣職員を増員した。また、新型コロナウイルスに対応した職員への手当を増額するなど業務負担に対して適正に対応した。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

持続可能な経営基盤の確立については、新型コロナの影響により、入院・外来ともに患者数が激減した。そのため医業収益が大幅に減少し、医業収支比率は年度目標を大きく下回った。しかし、コロナ関連補助金の交付により営業収益は増収となったため、黒字となった。その結果、経常収支比率の年度内目標を達成し、資金を確保した。

収入の確保及び費用の節減について、新型コロナの影響による救急患者受入制限の実施や、感染症患者に必要な病床の確保、また感染患者に対応する看護を増員するための休床等により、病床稼働率は年度目標に大きく下回り、医業収益も大幅に減収した。しかし新型コロナ患者（疑い患者を含む）の外来診療や検査の実施、入院受入れのための各種感染対策に注力し、当院の使命を果たした。

当院のスローガンである「断らない救急」については、新型コロナ患者の影響で受入停止措置を行わざるを得ない期間もあり、前年度比で、救急患者23.4%減、救急要請応需率6%悪化となった。

費用については、新型コロナ対策に必要な備品や医療機器の購入や改修工事等を行ったことで増加しているが、収支のバランスを計りながらの投資であり、令和3年度以降の診療体制の維持強化につなげた。

DPC係数の分析については、施設基準への迅速な対応を行うなど、引き続き収益増に努めた。

未収金対策としては、支払いが困難な患者に対して、医療保険や公費負担等の医療費助成について説明し、各種制度の活用により患者負担を最小限にすることで、未収金の発生を未然に防止するとともに、発生した未収金については、定期的な催促や、場合によっては債権回収を委託している弁護士が対応するなどにより回収を行った。

第4 その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置

新型コロナの拡大により、大人数での市民健康講座等の開催は不可能となった。このため、開催方法などについて岡山市と協議し、Webを活用したりリモート開催等を実現するための通信・放送設備等を整備し、開催を検討した。

第5 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画

1 令和2年度 予算

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差 額 (決算額－予算額)
収入	14,620	15,587	967
営業収益	14,080	14,609	529
医業収益	12,886	11,259	△ 1,627
運営費負担金収益	1,063	3,218	2,155
その他営業収益	131	132	1
営業外収益	113	129	16
運営費負担金収益	57	56	△ 1
その他営業収益	56	73	17
臨時利益	0	0	0
資本的収入	427	849	422
長期借入金	425	279	△ 146
運営費負担金収入	0	0	0
その他資本的収入	2	570	568
その他収入	0	0	0
支出	14,466	14,524	58
営業費用	12,745	12,394	△ 351
医業費用	12,553	12,224	△ 329
給与費	7,114	6,934	△ 180
材料費	3,116	3,018	△ 98
経費	2,269	2,258	△ 11
研究研修費	54	14	△ 40
一般管理費	192	170	△ 22
営業外費用	181	179	△ 2
臨時損失	0	0	0
資本的支出	1,540	1,951	411
建設改良費	489	923	434
償還金	1,048	1,028	△ 20
その他資本的支出	3	0	△ 3
その他支出	0	0	0
収支（収入－支出）	154	1,063	909

2 令和2年度 収支計画（損益計画）

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差額 (決算額－予算額)
収入	14,274	14,853	579
営業収益	14,166	14,728	562
医業収益	12,837	11,211	△ 1,626
運営費負担金収益	845	3,005	2,160
資産見返運営費負担金戻入	345	343	△ 2
資産見返受贈額戻入	20	45	25
その他営業収益	119	124	5
営業外収益	108	125	17
運営費負担金収益	57	56	△ 1
その他営業収益	51	69	18
臨時利益	0	0	0
支出	14,197	13,793	△ 404
営業費用	13,405	13,043	△ 362
医業費用	13,213	12,872	△ 341
給与費	7,248	7,010	△ 238
材料費	2,832	2,736	△ 96
経費	2,005	2,034	29
減価償却費	1,078	1,078	0
研究研修費	50	14	△ 36
一般管理費	192	171	△ 21
営業外費用	792	749	△ 43
臨時損失	0	1	1
純利益	77	1,060	983
目的積立金取崩額	0	0	0
純利益	77	1,060	983

3 令和 2 年度 資金計画

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算額－予算 額)
資金収入	18,825	18,417	△ 408
業務活動による収入	13,976	13,325	△ 651
診療業務による収入	12,886	11,225	△ 1,661
運営費負担金による収入	902	1,905	1,003
その他業務活動による収入	188	195	7
投資活動による収入	218	1,043	825
運営費負担金による収入	218	543	325
その他投資活動による収入	0	500	500
財務活動による収入	427	279	△ 148
長期借入による収入	425	279	△ 146
その他財務活動による収入	2	0	△ 2
前年度からの繰越金	4,204	3,770	△ 434
資金支出	18,825	18,417	△ 408
業務活動による支出	12,927	12,415	△ 512
給与費支出	7,292	7,086	△ 206
材料費支出	3,116	2,753	△ 363
その他業務活動による支出	2,519	2,576	57
投資活動による支出	489	2,829	2,340
有形固定資産の取得による支出	489	789	300
その他投資活動による支出	0	2,040	2,040
財務活動による支出	1,051	1,028	△ 23
長期借入の返済による支出	809	782	△ 27
移行前地方債償還債務の償還による支出	239	246	7
その他財務活動による支出	3	0	△ 3
翌年度への繰越金	4,358	2,145	△ 2,213
単年度資金の増減額	154	△ 1,625	△ 1,779

第6 短期借入金の限度額

短期の借入は行わなかった。

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

該当なし

第8 剰余金の使途

令和2年度は、剰余金は発生しなかった。

第9 地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

(単位：百万円)

施設及び設備の内容	決算額	財源
病院施設、医療機器等整備	923	岡山市長期借入金等

監事監査報告書

令和3年6月10日

地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター

理事長 松本 健五 様

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター

監 事

大倉 宏治

監 事

吉沢 徹

私たちは、地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項に基づき、地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の業務及び会計について監査を実施しました。

その結果につき、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター監事監査規程に基づき、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等から業務運営の報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

会計監査については、関係帳簿書類の確認及び関係者への事情聴取等を行い、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について検討を行いました。

2 監査の結果

- (1) 業務の執行は、法令及び中期計画等に沿って適正に行われているものと認めます。
- (2) 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及び附属明細書は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示しているものと認めます。
- (3) 利益の処分に関する書類は、法令に適合しているものと認めます。
- (4) 事業報告書は、法令等に従い、業務の実施状況を正しく示しているものと認めます。
- (5) 決算報告書は、予算の区分に従い決算の状況を正しく示しているものと認めます。
- (6) 理事長を含む理事の業務遂行に関しては、不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められませんでした。

以 上